

もつと近い夜に

ミズタニ J

夜に羊を飼うその柵に伝わる音で  
人間のことをもつと後回しにして耳を閉じる  
視野だけでことのほか考えてきたような  
後先にも自分の心で精いっぱいなんだから

情けない涙には 心地よいベッドを  
溢れるのが先祖の亡骸のならば沈んだ空を  
目方で星の位置を測ったってここまでは  
届かない 落ちていく瞳の分までも

眠たいのに一人だけで頑張ってきた  
夜にその羊を数えるだけのことで  
後先にも自分の心で精いっぱいなんだから  
これ以上来るなど言われても両足は……

（夢中を泳ぐヒレのようになる……）